



# 校長室だより

校長 山崎 聡子

## 1年生を迎える会

4月23日(火)、1年生を迎える会を行いました。5年生が持つ花のアーチの中を6年生と手をつないだ1年生が入場しました。全校が体育館に集まり、1年生を温かく迎えました。昨年度1年生だった2年生から朝顔の種と「ありがとうの花」の歌のプレゼントがありました。プレゼントをした朝顔の種は、昨年度1年生だった今の2年生が、今の3年生からプレゼントされた朝顔の種を大切に育てた朝顔から実った種を収穫したものです。毎年、朝顔の種のプレゼントがあり、命がつながっていることがすてきなことだと改めて思いました。今年もきれいな花を咲かせてくれることと思います。芽が出て花が咲き、種が実るといふ植物の生長の変化に関わる中で、子供たちは心をたくさん動かしていきます。

また、1年生を迎える会では、児童会の児童が司会・進行を担いました。学校のことを知ってもらおうと、〇×クイズを考えて全校参加のクイズも行いました。1年生だけでなく、全校児童も楽しみながら学校について振り返る良い機会となりました。

1年生からも歌のプレゼントがありました。入学してから約2週間の間に、歌の練習をして、全校へお返しをしてくれました。

私からは、次の話をしました。

- ・1年生の入学をみんなが待っていたこと。
- ・入学後は、6年生が1年生のために朝の準備の見守り等、最高学年として力を発揮していることに対する感謝。
- ・登校班の班長が、1年生を気にかけて歩くスピードを調整しながら行動していることに

対する感謝。

- ・全校を視野に入れながらクイズを考え、企画した児童会の人たちへの感謝。
- ・2年生からのプレゼントである朝顔の種は命がつながっている種であること。すてきな歌のプレゼントに対する感謝。
- ・入学式で、挨拶を返してほしいという話をしたことに対して、毎朝、1年生が元気に「おはようございます」と挨拶を返していることに対する感謝。
- ・挨拶は、人を元気にさせる魔法の言葉の一つであり、大切なものであること。

最後に、温かな言葉・優しい言葉・きれいな言葉を使って、「ありがとうの花」をたくさん咲かせましょと伝え、話を終えました。

1年生を迎える会は、学校行事の一つですが、独立した時間ではありません。学校には様々な教育活動がありますが、意図的につないで子供たちを育てていきたいと考えています。その一つとして、道徳科とのつながりがあります。道徳が教科化され、道徳の時間において内容項目を指導し、学校の教育活動全体を通して、道徳性を養うことを目的としています。プレゼントされた朝顔の種が受け継がれてきた命であることを知ることによって「生命の尊さ」「自然愛護」の価値に触れることができます。お互いのことを考えて行動していることを意識化することで、「親切・思いやり」「感謝」「よりよい学校生活・集団生活の充実」の価値に触れることができます。

子供たちの心が豊かに育っていくように、様々な教育活動をつなげて意味づけると共に、子供たちのすてきな姿をたくさん見出して価値づけしていきたいと思ひます。